

「 2010 年度 事業報告 」

1. 2010 年度事業報告について

早稲田大学男女共同参画推進委員会（第 2 期）は、2008 年 12 月に発表した 2017 年度までの中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、次のとおり 2010 年度の事業を実施した。

2010 年度の特筆すべき点としては、鎌田新総長のもと、本学の一層の男女共同参画の推進に向けて、2010 年 11 月発足の新理事会において、本学初めての学内女性理事が就任し、「男女共同参画」の担当となったこと、同年 9 月、日本で初めて開催された APEC 女性リーダーズネットワーク（WLN）会合のサイドイベントとして、本学でシンポジウムを開催したこと、国際化に向けて、男女共同参画推進室ホームページの英語版の公開を始めたこと、本学の教職員・学生が優先的に利用できる一時預かり託児室の開設に向けて、主管箇所の学生生活課に協力して準備を進めたこと、などが挙げられる。

2. 2010 年度の具体的事業報告

1) 女性専任教員比率の向上

- ① 女性専任教員比率の向上を目的に、2009 年度に実施した学術院ヒアリングの懇談内容の中から共通課題についてまとめ、学内に公表する準備を進めた。また、2011 年度に 2 回目の学術院ヒアリングを実施するため、1 回目の学術院ヒアリング後の各学術院における男女共同参画の進捗状況の把握を目的に、箇所調査を実施した。
- ② 当初目標とした、一般教員を対象としたアフターマティブアクションの勉強会や講演会の開催には至らなかったが、2010 年 12 月には、11 月の総長交替時に嘱任した新任委員を対象に、「2008 年度 男女共同参画推進に関する意識・実態調査」の検証報告会を研修を兼ねて行った。

2) 女性専任職員および女性管理職比率の向上

- ① 職員管理職者を対象に、男女共同参画の理解のみならず、女性専任職員をどのように育てていくのか、という問題意識を喚起するための研修実施に向けて、2009 年度に引き続き検討を重ねたが、実施には至らなかった。
- ② 女性管理職比率が低迷する理由について、本人の能力以外に阻害する因子（辞退、家事・育児・看護等）は何なのかを探るため、2008 年度に引き続き、以下のとおり職員担当常任理事、男女共同参画担当理事および人事部との懇談を行い、職員を取り巻く状況についての情報を収集した。

○人事部との懇談

懇談実施日	箇所名	箇所側出席者	委員会側出席者
2010/12/28	人事部	本多常任理事、齋藤理事、迫田人事部長他 5 名	川田委員長他 4 名

- ③ 2010年2月に実施した女性職員へのヒアリング結果を検討し、育児・看護にかかる各種制度は整っていても利用しにくい職場環境であったり、管理職の理解度にも偏りがあることなど、いくつかの問題点を明らかにした。また、女性管理職比率が低迷する原因を明らかにし、比率を改善することを目的に、女性管理職者へのヒアリングを2011年4月に実施するための準備を進めた。

3) 男女共同参画推進に対する教職員の意識向上

- ① 新規採用の教職員を対象とした以下の研修に、男女共同参画の講義を盛り込み、本学の「男女共同参画基本計画」を周知するとともに、男女共同参画推進への理解を深め、意識の共有を図った。

○新入教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	対象者	講師
2010/04/03	新任教員セミナー	早稲田キャンパス大隈小講堂 (第1部) (第2部)	78名 61名	棚村部会委員
2010/04/27	新入職員研修	早稲田キャンパス大隈会館 N201 会議室	25名	桜井副委員長
2010/10/27	新入職員研修	早稲田キャンパス 201-51 号館	9名	桜井副委員長

- ② 教職員・学生・一般向けのシンポジウム、啓発セミナー、講演会等を以下のとおり開催して、多くの本学構成員に、本学の「男女共同参画基本計画」を周知し、理解を求める機会を提供した。また、開催報告をホームページに掲出する他、ニュースレターにも内容の紹介を掲載したり、推進室が主催したセミナーや講演会等については、DVDに収録し、希望者が視聴できる機会を設けるなど、当日参加できなかった者への配慮も図った。

○シンポジウム・講演会等の開催

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2010/05/29	公開講座	「科学史とジェンダー」	教職員・ 学生・一般	122名	主催
2010/06/19	シンポジウム	稲門女性ネットワークによる現役女子学生のためのキャリア支援「第6回未来の自分を発見しよう」	学生	213名	協賛
2010/07/03	講演会	第4回育児講演会「子育てママの気持ち楽になるコツ」	教職員・ 学生・一般	28名	主催
2010/09/18	シンポジウム	APEC-WLN サイト イベントシンポジウム「自分らしく生きるための力-女性の経済活動への参画と自立-」	教職員・ 学生・一般	326名	主催
2010/10/22	講演会	早稲田文化芸術週間 2010「ワークライフバランスの理念と実践～イクメン(育児)の多い会社は業績アップ～」	学生・教職員・ 一般	222名	主催
2010/12/11	シンポジウム	平成22年度男女共同参画推進に関するシンポジウム「私立大学における男女共同参画に係る環境整備」	大学関係者	60名	共催

		と促進」			
2010/12/20 ～2/22 2011/1/11 ～1/14	DVD 視聴会	「ワークライフバランスの理念と実践～イムン(育男)の多い会社は業績アップ～」	学生・教職員	5名	主催
主催5回・共催1回・協賛1回 計7回			計	976名	

4) ライフイベントサポートシステムの改善と拡充

- ① ワークライフバランス・サポートセンターでは、教職員・学生を対象とした相談事業・交流事業を実施した。相談事業では、特にキャリア初期研究者が、研究者として自立するためのキャリア支援および出産、看護等のライフイベントの両立支援、大学院学生の就職活動についての支援が中心となった。また、交流事業では、ランチョンミーティング等により、キャリア初期研究者の交流の場を充実させるとともに、教職員・学生を問わず、ライフイベントに役立つ講座やセミナーを各種開催した。

○交流事業

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2010/06/02	ランチョン・ミーティング	キャリア初期研究者のための「つながり昼食会 in 早稲田キャンパス」	文系キャリア初期研究者	12名	主催
2010/06/29	トワイライト・セミナー	知って得するお金のこと「ライフ・プランニング講座」	教職員・大学院学生・ポストク	23名	主催
2010/07/14	ランチョン・ミーティング	キャリア初期研究者のための「つながり昼食会 in 所沢キャンパス」	キャリア初期研究者	15名	主催
2010/09/10	夏休みセミナー	知って得する人間関係のスキル「アサーション講座」	非常勤講師・助教・助手・学生・ポストク	26名	主催
2010/10/4 ～10/08	DVD 視聴会	第1週目 知って得するお金のこと「ライフ・プランニング講座」	教職員・学生	9名	主催
2010/10/11 ～10/15	DVD 視聴会	第2週目 知って得する人間関係のスキル「アサーション講座」	教職員・学生	10名	主催
2010/10/26	トワイライト・セミナー	ころばぬ先のつえ「介護予備知識セミナー」	教職員・学生	23名	主催
2010/11/09	ランチョン・ミーティング	理系女子学生のための「キャリアプランニング講座」	理系女子学生	5名	主催
2010/11/24	ランチョン・ミーティング	第1回「大学における女性研究者・女子学生支援」	女性非常勤講師	中止	共催
2010/12/02	ランチョン・ミーティング	第2回「大学における女性研究者・女子学生支援」	女性非常勤講師	5名	共催
2010/12/06	ランチョン・ミーティング	キャリア初期研究者のための「つながり昼食会 in 戸山キャンパス」	キャリア初期研究者	10名	主催
2011/01/18	トワイライト・	知って得するお金のこと「保険	教職員・学	21名	主催

	セミナー	の賢い活用法セミナー	生・ポストク		
2011/01/24 ～01/28	DVD 視聴会	ころばぬ先のつえ「介護予備知識セミナー」	教職員・学生	2名	主催
2011/01/28	ランチオン・ミーティング	第3回「大学における女性研究者・女子学生支援」	女性非常勤講師	5名	共催
2011/01/31 ～02/4	DVD 視聴会	知って得するお金のこと「保険の賢い活用法セミナー」	教職員・学生	4名	主催
2011/3/18	ランチオン・ミーティング	キャリア初期研究者のための「つながり昼食会 in 西早稲田キャンパス」	キャリア初期研究者	震災の為に中止	主催
主催 12 回・共催 2 回 計 14 回			計	170 名	

○施設利用者

施設名	a. 開室日数	b. 利用者数	b./a. 日平均	b. 内訳 男性	女性	子供
早稲田キャンパス 10-213 事務所・相談室	211 日	250 名	1.2 名	117 名	128 名	5 名
西早稲田キャンパス 60-214・216 ワークライフバランス・サポートセンター	217 日	557 名	2.6 名	317 名	234 名	6 名

○相談事業

相談件数	(1) 性別		(2) 属性別				(3) 相談内容別					
	男性	女性	教員	職員	学生	その他	進路	ライフスタイル	心理	ハラスメント	就活	その他
105	25	80	12	10	79	4	27	17	5	3	36	17

内訳：(1)性別、(2)属性別、(3)相談内容別

- ② 早稲田キャンパスにおいては、本学の教職員・学生が優先的に利用できる一時預かり託児室の 2011 年度開設に向けて、主管箇所の学生生活課に協力して準備を進めた。また、大隈会館内に、校友・来訪者のためのオムツ替えベッドを設置して欲しいという声に応え、関係箇所と交渉の上、これを設置した。所沢キャンパスにおいては、相談業務が行える施設の確保に向けて、要望書を作成し、関係箇所との交渉を進めた。なお、所沢キャンパスでは、託児施設の設置を目指すワーキンググループが活動しており、これを支援した。
- ③ サポートセンター事業を担う支援者（相談員）の研修を目的として、学内外の以下の講演会等に支援者を派遣した。

○研修

開催日	内容
2010/06/22	内閣府主催「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」
2010/07/03	ポピュラーナースクール早稲田・育児講演会
2010/09/18	APEC-WLN サイトイベント シンポジウム「自分らしく生きるための力(キャリア)－女性の経済活動への参画と自立－」
2010/11/13	文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」第 3 回シンポジウム「慶應義塾としての男女共同参画への取り組み」
2010/12/11	私大連シンポジウム「私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進」

2011/02/04	横浜国立大学男女共同参画推進シンポジウムへの参加
2011/02/16	上智大学「第4回男女共同参画セミナー」
2011/03/02	日本学術会議主催講演会「学術における男女共同参画推進の加速化に向けて」への参加

- ④ サポートセンターの活動報告書作成については、予算等の関係もあり、2011年度以降の懸案事項となった。
- ⑤ 出産・育児・看護等（ライフイベント）を支援するシステムを充実させるために、すでに学内にあるライフイベントサポート諸制度（大学の福利厚生事業、健康保険組合の保健事業「Benefit Station」による業務委託分）の確認を行い、リーフレットやニュースレター、ホームページにおいて適宜周知を行った。

5) キャリア初期研究者への支援

- ① サポートセンターに寄せられた「会議・打合せを所定勤務日以外の土曜日や17時以降に開催しないで欲しい」等の要望について、今後の学術院との懇談の中で取り上げていくこととした。

6) 女子学生の就職・進学支援

- ① 2010年度も、オープン教育センター設置の男女共同参画への導入講座、「女性・しごと・ライフデザイン」、「ウーマン・キャリアクリエイト」、および「科学とジェンダー」を継続して開講した。また、5月開催の「科学とジェンダー」の2コマ分については、履修者以外も聴講可能な公開授業として実施した。(P.2 参照)

○関連科目の開講・登録者数

科目名／担当教員	学期	2010年度
女性・しごと・ライフデザイン／矢口徹也ほか	前期	226名
ウーマン・キャリアクリエイト講座／並木秀男ほか	後期	247名
科学とジェンダー／中村采女ほか	前期集中	55名

- ② 日本で初めて開催されたAPEC女性リーダーズネットワーク(WLN)会合のサイドイベントとして、シンポジウム「自分らしく生きるための^{キャリア}力ー女性の経済活動への自立ー」を内閣府、新宿区とともに共同開催した。なお、このイベントには、準備段階から多くの学生がボランティアとして参加し、企画・立案・運営を行うとともに報告書も作成した。(p.2 参照)
- ③ 2010年6月に、女子学生の進学・就職支援のため、稲門女性ネットワーク(TWN)・キャリアセンターと連携して、女子学生を対象としたセミナー「第6回自分の未来を発見しよう～OGのパネルディスカッション～」を開催した(p2. 参照)。

7) 人権・ジェンダー・労働に関わる教育・研究の推進

- ① 関連科目のデータベース化、補完・強化すべき分野の検討を検討し、2010年度開講科目について、男女共同参画に関連するキーワードによる抽出作業を実施し、ホームページでの公開を開始した。
- ② オープン教育センターが設置する、全学生、主に学部新生を対象としたオンデマンド授業「わせだライフABC」（旧：「早稲田大学基礎講義」）に盛り込む、男女共同参画部分のコンテンツを2009年度に引き続き提供した。なお、学内関連箇所と連携して推進室独自のオンデマンド・コンテンツを作成する計画については、2011年度以降の検討課題とした。

○オンデマンド授業

科目名／テーマ名／講師	アクセス件数
わせだライフABC／男女共同参画とは何かを考えてみよう／川田委員長	588件

- ③ 男女共同参画を推進する上で必要な研究を専門分野とする学内研究者のネットワーク形成を目的に、男女共同参画に関連する開講科目の抽出に合わせて、研究者データベース作成の検討を開始した。

8) 国内外の大学および研究機関との交流

- ① 2010年5月に、オープン教育センター設置科目「科学とジェンダー」の中から「科学史とジェンダー」を公開講座として開催した。また、同年10月には、早稲田文化芸術週間2010の企画として、講演会「ワークライフバランスの理念と実践～イクメン(育男)の多い会社は業績アップ」を開催するなど、本学の学生・教職員の男女共同参画についての理解を深めるとともに、外部にも公開して本学の取り組みを紹介した。

そのほか、学内他箇所が主催する男女共同参画に関連するイベントについては、共催・協賛箇所等として支援し、ホームページやニュースレターに案内や報告を載せた。

(p.2参照)。

- ② 他大学・機関との交流・協力にも重点を置き、2010年9月、内閣府、男女共同参画推進連携会議、新宿区との共催で2010 APEC 女性リーダーズネットワーク(WLN)会合のサイドイベントとして、シンポジウム「自分らしく生きるための^{キャリア}女性^の経済活動への自立」を開催した(p.2・5参照)。また、同年12月には、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択された私立大学11校と社団法人日本私立大学連盟と合同で、シンポジウム「私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進」、およびポスターセッションを開催した。

そのほか、学外他機関からの見学者・来訪者を広く受け入れ、情報提供・意見交換を行った。

見学者・来訪者：5件（東レ経営研究所、新宿区、法政大学、住友生命、日本数学会）

- ③ 委員会委員・部会委員・事務局スタッフは、学内外のワークショップ・シンポジウム・講演会等の講師を務めるほか、積極的に参加をし、情報収集・意見交換を行った。

○参加講演会・シンポジウム等

開催日	主催者	演題等	参加形態
2010/06/08	学内(職員組合)	育児・看護懇談会	一般参加
2010/06/22	内閣府	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議	一般参加
2010/06/24	女性と仕事の未来館	女性エンパワメント支援セミナー「働く女性の現状と労働法の基本」	講師
2010/06/24 ～06/25	国立女性教育会館	大学・研究機関のための男女共同参画推進研修	一般参加
2010/06/28	学内(キャリアセンター)	文系大学院学生就職ガイダンス	一般参加
2010/07/10	千葉県女性センター	働く人のための基礎知識「労働法の基本を知ろう」	講師
2010/08/05	全日本自治団体労働組合	女性リーダーセミナー「女性差別撤廃条約30周年と個人通報制度」	講師
2010/09/13	東北大学	「杜の都ジャンプアップ事業 for2013」シンポジウム2010ー今何が必要か、各大学の取り組みに学ぶー	一般参加
2010/10/19	国際女性の地位協会他	女性差別撤廃条約批准25周年	講師
2010/10/22	日本労働組合総連合	連合中央女性集会「ジェンダー平等社会へ」	講師
2010/11/13	慶應義塾大学	第3回「ソーシャルキャピタルを育む女性研究者支援」シンポジウム『慶應義塾としての男女共同参画への取り組みー女性研究者支援を超えてー』	一般参加
2010/12/08	中央大学教員組合	教育研究集会「ワークライフバランスの実現へ向けてー早稲田大学の取り組みと課題ー	報告者
2010/12/11	11私立大学・私立大学連盟	平成22年 男女共同参画推進に関するシンポジウム「私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進」	挨拶者、報告者、一般参加
2011/01/29	一橋大学	公開ワークショップ「大学における育児サポート：新しい一橋大学に向けて」	一般参加
2011/02/04	横浜国立大学	男女共同参画推進室シンポジウム「ダイバーシティ」(職場の多様性)	一般参加
2011/02/16	上智大学	第4回男女共同参画セミナー「理想と現実 ワークライフバランス」	一般参加
2011/03/03	日本学術会議	講演会「学術における男女共同参画推進の加速化に向けてーアンケート調査結果の分析をてがかりにー」	一般参加

9) 長期的な展望にたつ男女共同参画の推進

- ① 鎌田新総長のもと、2010年11月8日発足の新理事会において、本学初めての学内女性理事として、齋藤美穂教授(人間科学学術院)が就任し、「男女共同参画」を担当することとなった。
- ② 2008年12月に発表した中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、2010年度事業計画を実施した。また、2008年度・2009年度の事業報告を作成し、ホームページ上で広く学内外に公表するとともに、その報告内容・実績を踏まえ、2011年度事業計画を策

定した。なお、事業の実施と計画立案にあたり、次のとおり、委員会・部会等を開催した。

○会議等の開催状況

会議体名	開催数	開催日・回
委員会・幹事会	3回	6/9 第7回(第2期1回)、10/7 第8回(第2期2回)、12/17 第9回(第2期3回) ※幹事会の開催なし
教育研修部会	5回	4/23 第13回(第2期4回)、6/18 第14回(第2期5回)、7/30 第15回(第2期6回)、10/1 第16回(第2期7回)、4/23 第17回(第2期8回)
制度環境部会	5回	7/1 第15回(第2期3回)、8/3 第16回(第2期4回)、10/27 第17回(第2期5回)、1/25 第18回(第2期6回)、3/31 第19回(第2期7回)
広報調査部会	4回	6/1 第17回(第2期4回)、6/29 第18回(第2期5回)、10/26 第19回(第2期6回)、3/10 第20回(第2期7回)
サポートセンター部会	4回	6/9 第9回(第2期3回)、8/6 第10回(第2期4回)、12/10 第11回(第2期5回)、3/16 第12回(第2期6回)

③ 2010年度末の事務局体制は次のとおりであり、2009年度末と比べ増減はなかった。

スタッフ数：6名（内訳：管理職1、専任職員2、派遣1、相談員2）2011年3月現在

10) 男女共同参画に必要な各種調査の実施

- ① 2008年度に実施した教職員全数調査の今後の実施方法・間隔等について検討を行ったが、2011年度以降の懸案事項にすることとした。なお、2008年度の教職員全数調査の結果の検証と新たに嘱任された委員への研修を兼ねて、2010年12月に開催した男女共同参画推進委員会において、本学の状況報告を行った。
- ② 2011年3月に、2007年度に「男女共同参画推進準備室」が実施した箇所調査を拡充して実施し、2011年度に予定している2回目の学院との懇談に向けて、意識変革等を確認するための、基礎資料作成に着手した。
- ③ 男女共同参画事業の推進にあたって、必要な情報を収集するための調査活動として、2008年12月に引き続き、2010年12月に人事部との懇談を実施した(p.2参照)。また、以下のとおり、他大学・学外機関からの調査等に協力した。

○学外からの調査依頼等

依頼日	依頼機関	調査内容
2010/04/30	日本学術会議	男女共同参画推進に関するアンケート調査
2010/08/30	科学技術振興調整費業務室	「女性研究者養成システム改革」に係るデータ収集
2010/09	日本私立大学連盟	男女共同参画推進に関するアンケート調査
2010/10	新宿区	ワーク・ライフ・バランスに関する企業(従業員)の意識・実態調査アンケート
2011/02	文部科学省生涯学習政策局	高等教育機関における男女共同参画に係る取組状況調査
2011/02/12	大阪府立大学	女性研究者支援システム改革のための「地域連携」に関する調査

2011/02/23	神戸大学	メンター制度の現状調査
2011/03/16	科学技術振興機構	科学技術振興調整費「女性研究者支援システム改革」プログラムアンケート調査

11) 男女共同参画の進捗状況の周知

- ① 本学における男女共同参画推進の取り組み、現状や制度の概要等を紹介することを目的としたリーフレットについて、2010年度はレイアウトなどの大幅な改訂を行い、利用者の至便性を図った内容を掲載した第3版を2010年9月に発行、配付した。また、ポスターについても、標語（「あまねくワセダに、進取の精神。よくはたらき、よく生きる。女性、男性、しごと、くらし とれていますか？あなたのバランス」）を加え、デザインを変更したうえで、2010年9月に発行し、学内全ての箇所に掲出を依頼した。

○リーフレット

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
早稲田でも進めています男女共同参画(第3版)	2010/09	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生

○ポスター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
早稲田でも進めています男女共同参画	2010/09	200部	学内全箇所

- ② 2009年3月創刊したニューズレターについて、引き続き、2010年10月に第4号を発行、さらに、2011年4月発行の第5号の校正編集作業を実施した。ニューズレターは1年に2回の発行とし、2010年度より、発行月を前期開始の4月と後期開始の10月とすることとした。

○ニューズレター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
さんかくニュースNo.4	2010/10	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生
さんかくニュースNo.5	2011/04	25,000部	

- ③ ホームページによる情報発信の充実を図るため、男女共同参画推進に関連する学内外の情報を、ニュース・イベントとして速やかに掲出した。また、2010年4月からの英語版ホームページを開設した。

ニュース・イベント掲出数：2010年度68件 ※前年比24件増

アクセス件数：2010年度10,260件(月平均約855件) ※前年比2,911件増

- ④ 既存の学内広報物に、適宜、記事・話題を提供した。

- 『早稲田ウィークリー』 学生部発行
 - ・ 1216号(2010年5月20日発行)
【杜の手帳】 公開講座「科学史とジェンダー」開催告知
 - ・ 1225号(2010年7月22日発行)
【杜の手帳】 APEC-WLN サイドイベントシンポジウム開催告知
 - ・ 1227号(2010年10月14日発行)
特集記事「知っていますか？ワークライフバランス・サポートセンター」掲載、
渥美由喜氏講演会開催告知
 - ・ 1228号(2010年10月21日発行)
【現場レポート】 APEC-WLN 参加者感想掲載
 - ・ 1236号(2010年12月16日発行)
【現場レポート】 渥美由喜氏講演会参加者感想掲載

- 『CAMPUS NOW』 広報室広報課発行
 - ・ 195号(2011 新年号)
【第二世紀へのメッセージ】 渥美由喜氏(男女共同参画推進室主催講演会講師)
インタビュー記事掲載
 - ・ 195号(2011 新年号)
【スペシャルレポート】 part3 座談会「教職協働で目指す『夢』の実現」
男女共同参画推進委員会の活動

- 『CAMPUS DAIARY 2011』 早稲田大学発行・学生生活課編集
 - ・ 「男女共同参画」理解のためのQ&Aを掲載
 - ・ 「各箇所開室時間」 覧にサポートセンターを掲載

以 上